

(研究主題)

自ら考え、伝え合い、表現できる 豊かな心を育む授業の創造

一 課題発見・解決する題材構成を工夫し、他者と協働しながら表現力を高める指導の工夫

(研究の仮説) 児童が自ら考え、他者と協働して課題発見・解決・表現する力を育む題材構成・指導過程を工夫すれば、児童が主体的に活動し、学びに新たな価値を見出し、自分の思いを表現する力が育つであろう。

(研究内容1)

題材構成の工夫

1 一人一人の児童が自己課題をもち、課題発見・解決する題材構成の工夫

1 児童がわくわくする題材のゴールの設定

① 付けたい力の明確化→扱う〔共通事項〕の焦点化

《教室の音楽の掲示物》

旭丘小 みんなで
さかせよう! 音楽の花

教材と共通事項を関連させて
出てきた子どもの言葉

扱う教材名

本題材で付けたい力を明確にする。

〔共通事項〕を焦点化し、表現を工夫したり音楽を味わったりしたことなど、学んだことを「音楽の花」として、教室に掲示する。

〔共通事項〕である「音楽のまほうの種」を使って、どのような音楽の演奏表現をしていくのか考えよう!

扱う〔共通事項〕の焦点化

音楽のまほうの種：〔共通事項〕がまつたつぼ

② 課題を発見・解決する授業づくり→子どもと共に学習計画をたてる。

③ 音や音楽との出会いの場の工夫→主体的な学びを促す課題設定・導入の工夫をする。

④ 領域分野の関連→学習指導要領との関連



(研究内容2)

指導過程の工夫

2 他者と協働しながら、表現力を高める指導過程の工夫

2 他者と協働しながら、よりよい音楽表現・児童自ら価値を見出すための指導の工夫

① 教材・教具・ワークシートの工夫

② 音楽表現をみがき合う場の工夫 → 目的を明確にしたペア学習やグループ学習の設定

③ 言語活動の充実 → 音楽を根拠に、自分の思いや意図、価値などを言葉で表す。
《旭丘小学校 音楽の授業の流れ スタンダード》

	学習活動	教師の支援
準備	☆音楽係が進行する。	○音楽で起立、着席の合図
導入	☆音楽係が確認をする。 ☆本時の授業と関係する音楽表現技能の練習をする。	○事前に音楽係と確認する。 ○学習方法の見通しを確認する。(学習形態・時間設定など) ○児童の実態に応じて、必要な技能を練習させる。 (例) 歌唱の場合…呼吸法、発声練習など 器楽の場合…リズム打ちなど
展開	☆本時の課題の確認をする。 ☆課題の解決をする。 つかむ ↓ 考える ↓ 繰り返す ↓ まとめ	○学習計画表、振り返りカードなどを使って、自己課題をもたせる。 ○付けたい力を明確にし、「音楽のまほうのたね」〔共通事項〕を焦点化する。 ○課題解決のために、効果的な学習形態(ペア学習、グループ学習)を工夫する。 ○思いや意図を言葉や演奏で表現しながら、繰り返させる。 更によりよい価値を実感する発問・働きかけ
まとめ	☆みんなで繰り返す。 ☆より思いや意図をもった豊かな表現を追求する。	○更によりよい表現にするために、友達の演奏を聴き合わせる。 ペア学習やグループ学習を取り入れ、目的を明確にした学び合いのできる学習活動の工夫
まとめ	☆まとめの演奏をし、鑑賞する。 ☆学習の振り返りを行う。	○本時の課題に対するまとめの演奏を工夫させる。 ○次時への意欲を持たせ、動機づけとなる学習の振り返りを行わせる。